

技術ノート KGTN 2011020903

現象

クラスタマネージャの“**All Servers**”を見ると、同一ユーザが異なるサーバに存在している。

説明

通常考えられる状況としては、以下の2つのケースがあります。

- 1) 同じユーザが実際に異なるサーバにログインしている。
- 2) リストの更新タイミングの問題で異なるサーバに同時にログインしているように見える。

上記1のケースでは、ユーザが最初サーバにログインして、何らかの理由で「セッションが保持された状態」でサーバとのコネクションが切断され、ユーザが改めて（ロードバランサの振り分け機能等により）別のサーバにログインしたシナリオが考えられます。このケースでは、それぞれのサーバ上に実際にセッションが存在するかどうかをチェックし、存在すればこのケースに該当します。

上記2のケースでは、ユーザが最初サーバにログインして、「セッションが保持されない状態」でサーバとのコネクションが切断され、ユーザが改めて（ロードバランサの振り分け機能等により）別のサーバにログインしたシナリオが考えられます。最初のサーバがログオン状況を定期的にクラスタマネージャに通知しますが、その通知がクラスタマネージャに届かなかったか、または届くいてもクラスタマネージャの画面更新までに時間がある場合、このような表示になります。このケースでは、それぞれのサーバ上に実際にセッションが存在するかどうかをチェックし、1つしか存在しなければこのケースに該当します。

補足

このような状況が発生した場合、同一ユーザが存在している各サーバ上でクラスタマネージャを起動し、“**All Servers**”の状態をチェックして下さい。結果が同じであれば、それぞれのサーバ上にセッションが存在すると考えられます。結果が異なれば、タイミングの問題と考えられます。どちらの場合も、スクリーンショットと時刻（日付の時刻のプロパティ）の採取をお願いします。APS ログと突き合わせる場合、これらの情報が必要になります。

Last reviewed: Feb 09, 2011
Status: DRAFT
Ref: NONE
Copyright © 2011 kitASP Corporation